

| 氏名 | 役職名 | 備考 |
|--------|---------------|----|
| 菊池 章夫 | 福島大学教育学部教授 | |
| 小森 澄憲 | 郡山女子大学短期大学部教授 | |
| 佐々木 篤信 | 県立会津短期大学助教授 | |
| 服部 秀文 | 県教育庁義務教育課主幹 | |
| 星野 仁彦 | 福島県立医科大学助手 | |
| 山崎 万紀子 | 心理カウンセラー | |

② 家庭教育指導者研究協議会の開催

| 期日 | 会場 | 参加者数 |
|-----------|----------|------|
| 9月17日(木) | 田島町中央公民館 | 191人 |
| 11月27日(金) | 川俣町中央公民館 | 238人 |

③ 家庭教育指導資料の作成・配布

ア 家庭教育指導者研究協議会、市町村教育委員会、小・中・高等学校に配布し、その活用を図った。

④ 家庭教育電話相談の実施

ア 家庭教育電話相談（すくすくダイヤル）の開設
電話 0245-53-8222

開設日 毎週月～金曜日 9:30～12:00

イ 電話相談委員

| 氏名 | 役職名 | 備考 |
|--------|-------------|----|
| 大宮 勇雄 | 福島大学教育学部講師 | |
| 遠藤 正俊 | 富士病院医師 | |
| 河野 義章 | 福島大学教育学部助教授 | |
| 松崎 博文 | 福島大学教育学部助教授 | ◎ |
| 渡辺 俊彦 | 福島女子短期大学教授 | |
| 新家 淳子 | 巡回相談委員 | |
| 成田 由美子 | 心理判定員 | |
| 山川 和二 | 元公立学校長 | |
| 山崎 万紀子 | 心理カウンセラー | |
| 渡辺 晴子 | 元公立学校教諭 | |

ウ 相談状況 相談件数（62.4～63.3） 419件

（1日平均 28件）

エ 相談傾向（多い順）

- 1位 健康・発育に関すること
- 2位 育児・保育に関すること
- 3位 しつけに関すること
- 4位 性格行動に関すること
- 5位 対人交遊に関すること

修カリキュラムの標準」の中級段階に含まれる多様な視聴覚機材・教材について、その指導者研修会を充実し、さらに視聴覚教育の一層の振興を図り、当面する諸方策の実践について、総合的に研修する研究会を実施している。

また、視聴覚教育推進の拠点としての視聴覚ライブラリーの整備充実に努めている。

2 視聴覚教育指導者研修会

(1) 期日 昭和62年8月18日(火)～20日(木)

(2) 会場 福島県教育センター

(3) 参加者数 市町村職員、市町村教育委員会職員、社会教育指導員、公民館職員、図書館職員、視聴覚センター・ライブラリー職員、その他社会教育関係施設職員、青少年教育関係施設職員、各種団体の関係者 21人

3 福島県視聴覚ライブラリー研究協議会

(1) 期日 昭和62年11月25日(水)～26日(木)

(2) 会場 原町市文化センター

(3) 参加者数 視聴覚センター・ライブラリー職員、社会教育関係職員、公民館職員、小・中・高校教職員、その他社会教育関係職員 76人

4 くらしに生かす放送利用研究集会

① 中通り集会

① 期日 昭和62年6月18日(木)

② 会場 郡山市視聴覚センター

③ 参加者数 市町村の各種学級・講座生、自主学習グループの学習者、社会教育関係者、PTA、放送利用学習に関心のある者 115人

② 浜通り集会

① 期日 昭和62年10月30日(金)

② 会場 いわき市文化センター

③ 参加者数 市町村の各種学級・講座生、自主学習グループの学習者、その他 150人

③ 会津集会

① 期日 昭和62年11月10日(火)

② 会場 喜多方市喜多方プラザ

③ 参加者数 市町村の各種学級・講座生、自主学習グループの学習者、その他 159人

※ なお、浜通り・会津集会は、県生涯学習県民講座「家庭教育講座」と同時に開催した。

第6節 視聴覚教育

1 概要

複雑に変化する社会の中で、県民の学習要求に応じ、その能力、特性に即した学習機会の提供、学習方法の改善が必要である。その一環として視聴覚教育の果たす役割はますます重要なものになっている。このため「視聴覚教育研